

市民の森の植物ガイド

わたしたちは市民の森で折々に観察会を実施し、この森も植生豊かな森であることを知りました。同時に、植物の愛らしさ、巧みさ、したたかさに「感動！」、「感動！」でした。

この感動を、どうしたら多くの人たちに伝えることができるか、身近なこの森が豊かな森であることを知ってもらえるかと知恵を絞りました。

このガイドブックを片手に散策するとき、植物たちの姿、仕組みに「すご〜い！」と叫ぶような楽しめる情報を盛り込んだガイドブックを目指して、とにかく第一歩を踏み出しました。

カメラにも植物学にも素人集団ゆえに、写真のピントが今一つだったり、説明が不足していたりですが、植物の名前を知ることだけでも、植物たちに親しみが湧くのではないかと、多くの種を掲載するよう努めました。

お気づきの点がありましたら、ご教示頂ければ幸いです。

記号の説明:

	特に毒があると言われ、注意が必要なものにはこの記号をつけます。ただし、この印がないものがすべて食べられる訳ではありません。
	薬として効用があると言われるものにはこの記号をつけます。
	かぶれるなど注意が必要なものにはこの記号をつけます。
	食に関する情報にこの印をつけます。
	耳より情報にこの印をつけます。
	xさん感動のコメント。 xさんのおすすめコメント。
	花の写真がxページに掲載されている印です。イラストの色は掲載した花の色の分類を示します。
	樹木の写真がxページに掲載されている印です。
	別ページ参照にはこの印をつけます。

用語の説明:

落葉: 定期的に、葉を完全に落とす性質をいう。

常緑: 一年を通じて葉がついていて、一年中緑の葉を見ることができる性質をいう。

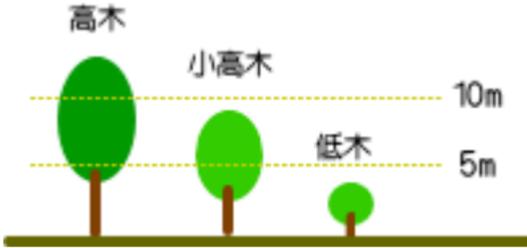
半落葉: 部分的に、または気温などの条件によって落葉する性質をいう。

高木: 樹高が5mを超える木本。

小高木: 高木のなかで、10m未満の木本。

低木: 生長しても樹高が約5m以下の木本。

つる性木本: 自らの力で体を支えるのではなく、他の樹木を支えにすることで高いところへ茎を伸ばす木本。



雌雄同株: 雄花(雄しべのみの花)と雌花(雌しべのみの花)が同じ株に咲く植物のこと。

雌雄異株: 雄花と雌花が別々の株に咲くこと。雌花のみ咲かせる雌株と、雄花のみ咲かせる雄株に完全に分かれている。

一年草: 生育に適さない季節を種子で過し、発芽から結実・枯死までの過程を1年以内でおえる植物。(例:ツユクサなど)

越年草: 一年草のうち、夏から秋に芽生え、翌年に開花・結実し枯れる。2年に渡るため二年草ということもある。(例:ムラサキケマンなど)

二年草: 発芽後1年以上2年以内に開花・結実・枯死する植物。冬を越すことから越年草ということもある。(例:アケボノソウなど)

多年草: 生育期間が満2年以上にわたる草本植物。多くは毎年秋になると茎や葉は枯れるが、根は生き残って春になると芽を出して成長する。中には、冬も緑の葉をつけているものもある。(例:スミシなど)

